

第9回

Happy Mozambique Day



10月4日はモザンビークの平和の日です。
 平和で持続可能な社会づくりのために、
 私たちひとり一人にできることは何でしょう？
 そしてSDGs(持続可能な開発目標)と
 どのようにつながっているでしょう？
 今回は、2023年8月～9月にモザンビークを
 訪問した中・高校生3名の帰国報告会を兼ねて
 日本とモザンビークのSDGsを考える
 モザンビーク・デーをハイブリッド開催します！

- 【当日のプログラム】(10:30 開場・受付開始)
- 11:00 開会挨拶、プログラム紹介
 - 11:15 フェアトレード商品開発・作品発表
(Moss:モザンビークSDGs勉強会)
 - 12:00 昼食・交流
 - 13:30 モザンビーク渡航報告 竹内よし子
トビタテ留学JAPAN 蔵野美結
飛び入り留学JAPAN 飯田夕和
飛び入りBof 安永百恵
質疑応答
 - 15:00 休憩・交流
 - 16:00 閉会挨拶・アンケート



お申し込み方法



申し込み
9月27日(水)
締切

←左のQRコードを
読み取り、参加を
お申し込みください

お申込みいただいたメールアドレスに、後日Zoom会議の参加用URLをお送りいたします。開催日までを担当者からの連絡がない場合は、お手数ですが申し込み確認のご連絡を以下の連絡先までお願いいたします。

2023年

10月1日(日)

11:00～16:00 (10:30 open)

■ところ コムズ4F視聴覚室B

(松山市男女共同参画推進センター)

■参加費 無料

■定員 会場/30名、オンライン/100名

※参加者多数の場合は先着順とさせていただきます。

※オンライン参加者にはお申込み頂いた後、URLをお送りします。

主催:特定非営利活動法人えひめグローバルネットワーク
 日本・モザンビーク市民友好協会

〒790-0803 愛媛県松山市東雲町5-6

TEL:089-993-6271 FAX:089-993-6227



えひめグローバルネットワークは
SDGsを推進しています

モザンビーク渡航(2023年8月19日～9月5日) 帰国報告会発表者紹介

■えひめ グローバルネット ワーク(EGN)

えひめグローバルネットワーク(EGN)は、1998年4月に発足し、2005年に法人化したNPO/NGO、市民活動団体です。

25年間にわたり、四国、モザンビークでの市民活動を経て、2024年4月より「四国グローバルネットワーク」へと改称することとなりました。

引き続き、「国際」「環境」「教育」の3つの活動分野をつなぎながら、ネットワーク・パートナーシップで、さまざまな社会課題の解決に向かって取り組んでいきます。

■日本・モザン ビーク市民友好 協会

日本とモザンビークの市民が主体となって友好・交流を深めるために、2006年に発足しました。

定期的な交流会開催を目的として、えひめグローバルネットワークとともに、2015年より「モザンビークデー」という年1回の交流会を開催しています。

日本とモザンビークの市民交流の輪をこれからも全国に広げていきます！

モ ス

■Moss

(モザンビークSDGs勉強会)

2018年にモザンビークを訪問したことを機に参加者が発足した市民活動団体です。

2023年度は、団体内の学生リーダーが中心となって「松山市民活動推進補助金」にチャレンジしました。

この助成金を活用し、モザンビークの伝統布であるカラフルな「カプラナ布」を使ったフェアトレード商品開発に関する勉強会やワークショップを開催しました。

モザンビークデーで、作品の発表を行いますので楽しみに！



Miyu Kurano

愛媛大学附属高校2年の蔵野美結です。

私は、「トビタテ！留学Japan」に採択いただき、モザンビークに約2週間留学しました。

モザンビークの貧困問題やごみ問題の現状を自分の目で見て学び、自身を成長させることを目標に活動しました。

学校訪問や村と街での活動を通して、貧富の差やごみが溢れている現状を実際に自分の目で見ました。

この問題を解決するために、何ができるのか考え、現状を多くの人に共有したいです。



Yuka Iida

愛媛大学附属高校2年の飯田夕和です。

私は、モザンビークに行くことで私の将来のあり方を明確にしたいと思い、渡航を決めました。

私は、SDGsの中でも教育に重点を置き、現地の子どもたちと交流を深めてきました。紙芝居をしたり、指人形を使ってお話しをしたり、書道をしたり…。

日本文化を体験してもらえた分、現地の文化を知ることができました。今日は、そのような現地で交流した子どもたちについて話そうと思います。



Momoe Yasunaga

日浦中学校2年、Bridge of friendship (略してBof)の安永百恵です。

今回モザンビークに行こうと思った理由は、Bofで活動を続けていくには、一度自分の目でモザンビークを見て、体験する必要があると思ったからです。

モザンビークでは驚くことが沢山ありました。水を頭の上に乗せて少し運んだだけで私はへとへとでしたが子供たちは私たちよりも重い量、長い距離を軽々運んでいたことに驚きました。

モザンビークデーではこのような私が驚いた子供たちの生活について発表します。

Bridge of
friendship(Bof)
は、2022年3月に
発足したNGOです。